

## 令和元年上半期分 中部空港 貿易概況（速報）の要旨

令和元年上半期分について、輸出は「電気計測機器」、「半導体等電子部品」などが増加したものの、「自動車の部分品」、「電気回路等の機器」及び「重電機器」などが減少したことから対前年同期比4.5%の減少となった。また、輸入は「有機化合物」、「半導体等電子部品」などが減少したものの、「航空機類」、「医薬品」及び「事務用機器」などが増加したことから、同7.0%の増加となった。

その結果、差引額は735億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	4,817億円	▲4.5%	5,552億円	+7.0%	▲735億円	+398.8%
4期ぶりの減少			4期連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率	
輸出	増加品目	(1) 電気計測機器	444億円	+12.7%	輸入	増加品目	(1) 航空機類	398億円	+55.0%	
		(2) 半導体等電子部品	376億円	+6.0%			(2) 医薬品	733億円	+22.7%	
		(3) 航空機類	96億円	+16.6%			(3) 事務用機器	171億円	+42.4%	
	減少品目	(1) 自動車の部分品	282億円	▲37.0%		減少品目	(1) 有機化合物	309億円	▲25.3%	
		(2) 電気回路等の機器	246億円	▲17.6%			(2) 半導体等電子部品	392億円	▲12.6%	
		(3) 重電機器	53億円	▲41.3%			(3) 重電機器	49億円	▲38.5%	
	主要地域 増減	EU、アジア、アメリカが減少				主要地域 増減	アメリカ、EUが増加			

（参考）ドルレート・・・110.28円（前年 108.93円）1.2%の円安ドル高

（注）期間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。